

# 生涯活躍のまちの事業推進体制 に関する調査・分析等事業

令和元年10月8日



一般社団法人北海道総合研究調査会

# 本調査の目的

- 新たに提示された「全世代・全員活躍のまちづくり」の実現に向けて、推進体制と推進方法について、取組の類型化等により整理
- 2つの経緯を想定し、ヒアリングや文献調査等
  - (1) 「生涯活躍のまち」の取組をベースに活動の幅を広げる
  - (2) 示された5つの要素のうち、先行的な取組をベースに他の取組と統合し、一体的な取組として展開する

# 視点・論点

## 1. 事業主体のパターン化と推進体制に関する事項

- 都市規模、立地特性（大都市近隣、純粋農村など）別に整理
- 民間主導型の取組の位置づけ
- 官民連携、住民参画の進め方
- 地域再生推進法人の課題と指定メリットの拡大

## 2. 自治体のインセンティブ

- 自治体が「全世代・全員活躍のまち」に取り組むインセンティブ
- 自治体や事業主体の取組の後押しと、評価（品質管理、継続性）

# 調査・分析

## 1. 事業主体の類型化と推進体制

- ・自治体が「生涯活躍のまち」構想を踏まえ、「全世代・全員活躍のまち」を検討し、実現に向けてどのような事業体制を構築するか、のヒントとなる取組事例のプロセスを見える化

# 中核事業を担う事業主体のパターンと推進体制（案）

事業推進タイプ		モデル事例	モデルの中核事業
1	社会福祉法人・障がい者就労支援活用型	・シェア金沢（金沢市）	障がい者福祉事業、就労継続支援事業、温泉、交流拠点施設
2	社会福祉法人・介護保険連携型	・ゴジカラ村（長久手市）	特養、幼稚園、託児所、高齢者生きがい支援事業
3	医療法人・地域リハビリ連携型	・フロイデDANによる活動（常陸大宮市）	コミュニティカフェ、（新設の施設）
4	まちづくり会社・地域の課題解決型	・(株)生涯活躍のまちかみしほろ（上土幌町）	かみしほろ塾、
		・(株)東川振興公社	しごとコンビニ
		・NPO法人なんぶ里山デザイン機構	空き家活用移住促進
5	サ高住整備連動型	・ゆいま〜る都留（都留市）	サ高住、交流セターに障がい者就労
		・地域共生事業・ぺこぺこの畑他（当別町）	就労継続支援事業、レストラン、土間、畑（退職者生きがい支援）
6	福祉系・ベンチャー主導型	・地域共生事業・ぺこぺこの畑（当別町）	就労継続支援事業、レストラン、土間、畑（退職者生きがい支援）
7	民間主導型	・たまプラーザ（横浜市）	・不動産業、地域利便施設「CO-NIWAたまプラーザ」
8	その他	・スポーツまちづくり（比布町）	

## < 中間的報告 >

### ■ 輪島市

#### < きっかけ >

- ・ 市は「観光で人を呼び込む」施策を模索
- ・ 商工会議所が、佛子園の取組を知り、視察「まちづくりで人を呼び込む」取組を提案
- ・ 佛子園とJOCA（（公社）青年海外協力協会）がジョイントし、輪島KABULETを立ち上げ
- ・ 輪島KABULETは、地元にとっては「黒船」なのか？果たして彼らの動きは？学ぶポイントは？

# 輪島KABULET®

高齢者デイサービス



ウェルネス施設



温泉



サービス付き高齢者向け住宅『新橋邸』



「電動カート」  
観光客、住民の移動交通手段として活用

## < 中間的報告 >

### ■ 医療法人博仁会 フロイデDAN(プロボノ集団)

#### < きっかけ >

- ・ 患者が退院しても、引きこもり、体調を崩す例が見受けられ、
- ・ 専門家として、まちづくりに参加しようとい気込んだ5人の職員。
- ・ しかし、商店街会長らから、受け入れられず。果たして、専門職である彼らはどうしたか？

# フロイデDAN



2010年12月10日結成。

【プロジェクトチームメンバー】  
作業療法士・介護福祉士・福祉用具専門相談員  
介護支援専門員・管理栄養士・社会福祉士・看護師等

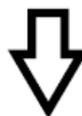
とりあえず「まちを元気」にしよう！という事で各部門、各職種に声をかけて結成。9人でのスタート(\*^\_^\*)  
言いだしっぺは……たしか事務局担当者！？のはず。

メンバーは最大で19名でした

## 【基本的な考え方、活動方針】

- 職員のthird place (サードプレイス)にする(家と職場以外の場所)→職員の生きがいになればと願っている。
- 組織でガチガチになりながら仕事しているので「まったり」「ムリしない」「好きな事、やりたい事をやる」

2012年2月6日  
コミュニティカフェバンホフオープン(空き店舗を改装)



フロイデDANの活動開始2年6カ月後(2013年5月)  
理事長にフロイデDANが公認される(笑)。それまで非公認。



2016年4月より組織変更

活動の拠点が「コミュニティカフェバンホフ」から「カフェテリアエルマウ」に変更になる

- コアメンバー7名(年会費12000円) ●サポートメンバー19名 ●ボランティアメンバー6名 ●監事2名
- 寺門(団長) 小野(副団長) 木戸田(副団長) 高宮(看護・介護部長)  
宮川(CCS部長)★2017年より 帯施(経理課)★2019年より 西村(事務局)

-----プロボノ-----

フロイデDANは‘未来型の働き方’ 専門的な知識や技術、スキルを活用。公共的、社会的な課題解決を目的とし、営利を目的としない

## 【医療介護福祉の視点からまちづくりを考える】

地域活性化と安心して暮らせるまちづくりへの挑戦

### ーフロイデDANの理念ー

- ①当地域において、人と人とのつながりを創り出していきます
- ②もっと素敵な生き方にチャレンジするきっかけを提供していきます
- ③誰でも気軽に寄れて、何でも気軽に相談出来る場所を創り出していきます
- ④まちと人を大切に思い、地域の幸せ創りを目指していきます

### ーフロイデDANの目標ー

- ①地域が衰退傾向にある中で、高齢者や障がい者が地域活性化に参画しインクルーシブなまちをつくる
- ②他産業とのネットワークを構築し最期まで安心して暮らせるまちを目指す

# 歳をとっても活躍出来る場所がある事を知ってもらうために

- ここに来ると宿題がなんとなく終わっている
- 寺子屋の先生は手習師匠とする
- 手習師匠は誰でも良い（高齢者、障害者、地域住民、職員、学生、子供等々）
- 毎日、何かしらの寺子屋をひらく
- 絵を描く、実験をする、習字、工作、農作業、1日日記などなど
- 参加者はいてもいなくても

フロイデ

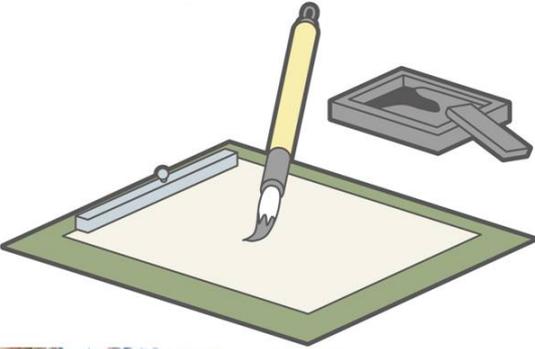
## 夏の寺小屋

### 書道

7月23日 7月30日 8月6日 8月20日 8月27日  
14時～16時

場所: カフェテリアエルマウ(常陸大宮市上町353)

中止になる場合もございます。ご了承ください。



書道道具持参でお願いいたします



## 夏の寺子屋 プロジェクト

地元の小学生



# 調査・分析

## 2. 「全世代・全員活躍のまちづくり」の各要素の参考事例と自治体のインセンティブ調査

- ・ 「全世代・全員活躍のまち」の5つの要素に関して、参考となる事例を整理する。
- ・ また、5つの要素を統合し、一体的に取り組む上で、自治体のメリットやインセンティブを検討する。

# インセンティブ調査

## 【調査の方法】

- 「全世代・全員活躍のまち」の5つの要素のうち、民間主導により、都市部との連携推進、多世代の住まい整備、が進められている地域を対象とし、取組の中心となっている事業者及び自治体に聞き取りを行う。

### 【事業者への調査】

事業のコンセプト、事業モデル（採算性）、今後の展開など

### 【自治体への調査】

自治体としての関わりや、住民参加・住民主体のまちづくりの仕掛けを作っていくことに関心があるか、など

- 調査対象地域：茨城県常陸大宮市、北海道札幌市、北見市

## <参考>研究会メンバー

- 研究会において、行政の立場、民間の立場から意見交換を行い、現地調査と合わせて、「全世代・全員活躍のまち」推進方策を検討する。

氏名（敬称略）	所属・役職
五十嵐 智嘉子	一般社団法人北海道総合研究調査会 理事長
一井 暁子	一般社団法人つながる地域づくり研究所 代表理事
岩田 健	岩田健 社会保険労務士・FP事務所 代表
大原 裕介	社会福祉法人ゆうゆう 理事長
寺門 貴	医療法人博仁会 志村大宮病院リハビリテーション科科長 作業療法士 地域リハビリアドバイザー
堀田 直揮	公益社団法人青年海外協力協会 事務局長
松田 智生	株式会社三菱総合研究所プラチナ社会センター 主席研究員 チーフプロデューサー
山口 哲央	山梨県都留市総務部企画課長